



MORINEWS

無所属・1期目
森きょうへいです
議会や日頃の活動
をご紹介します

長崎市では平和に関する重要な出来事が多くありました。長崎市議会では「被爆体験者の一刻も早い救済を求める決議」が全会一致で議決。また、核兵器廃絶を訴えてきた「日本原水爆被害者団体協議会」がノーベル平和賞を受賞しました。さらに、ピーススタジアム（スタジアムシティ）の開業や柔道の永瀬貴規選手への名誉市民の称号授与、地球市民フェスの開催などがありました。市議会では決算審査を実施し、R7年度の予算編成についても会派から市長への提言を行いました。今後も多くの方との対話を重ね、時代の変化を見据え積極的な活動を続けていきます。森きょうへい



会派 ながさきミライ会派 長崎市長へR7年度予算要求

10月10日、会派から鈴木長崎市長へ令和7年度の予算や方針に関する要望書を提出。また、両副市長及び各部長が同席のもと意見交換を実施しました。今後、この要望に対する回答を令和7年2月にいただく予定です。



【要求内容】組織改編について、公共施設マネジメント計画の進捗について、広報ながさきについて、長崎みなとメディカルセンターの経営について、新たな文化施設について、ながさきピース文化祭2025について、市民に愛される開かれた市役所について、障害福祉について（発達障害の支援体制）、ファミリー・サポート・センターながさきの運営について、病院病児保育施設について、産業について（ドローン産業）、平和公園地区の再整備について、中郡下水処理場跡地の活用について、江戸町公園の再整備について、銅座川プロムナードについて、公共交通対策について、ラストワンマイル問題について、動物広場について、不登校支援の拡充について

市議会 防災対策特別委員会

10月の委員会では災害発生時の関係機関との連携について調査研究を行いました。災害が発生すると通常の業務範囲や量を超えるため、関係機関同士で相互支援を行います。現在の協定についても確認を行いました。また災害時の地域医療体制についても体制や活動内容、協定、DHEAT（災害時健康危機管理支援チーム）など確認しました。

Q.防災対策特別委員会とは？

調査目的

令和6年元日の能登半島地震により甚大な被害が発生するなど、近年、大規模な自然災害が相次いでいます。本市では、長崎大水害以降、都市基盤の整備や地域防災力の向上に努めてきました。市民が安心して生活を送れるよう、改めて防災対策の現状と課題を検証し、自助・共助・公助を通して、災害発生時の被害を最小限に抑えることを目指します。



長崎市議会
市役所
特別委員会資料
はコチラから

※R5年度資料

下記のQRコードを読み取るor
「長崎市議会 特別委員会」で検索

9月定例会

市政一般質問



3回目の市政一般質問のテーマはまちづくり、経済、文化、障害福祉、平和です。市民、職員、議員、多くの方々のおかげで、この貴重な質問の時間があることに敬意を持って質問しています。



▲アーカイブ



▲議会議事録

長崎のまちづくりについて

（1）長崎都心まちづくり構想の今後

「長崎都心まちづくり構想」（R6.3策定）は、2050年を目標年次とし、4つのエリアに分類された57件の具体的な事業が記載されています。今後の進捗管理や民間企業、地域住民との連携体制はどうするのか問いました。また昨年、一般質問で「岬のエリア」にある県庁跡地周辺のまちづくりの進捗についても確認しました。

（2）市道における歩行者利便増進道路制度の活用

令和2年の「道路法等の一部を改正する法律」により、「歩行者利便増進道路（通称：ほこみち）」という新たな道路指定制度を創設され、従来の道路が持つ「歩行する」というハードに特化した機能に加え、人々が交流し賑わう空間を生み出す「ソフト的な機能」を併せ持つことも可能となりました。市道は生活に密接に関わる道路であり、最も効果を発揮するが、市道の「ほこみち」化の推進について質問しました。

→3つの市道でほこみちを進めていく旨回答がありました。



ほこみち

（3）市民活動センターの在り方

市民活動センターランタナについて、市民活動団体や民間企業、大学等の多様な主体と連携し活動を促進すること、市民活動センターの立地や機能向上について質問しました。→公共施設マネジメントに基づき、センターの複合化等も検討する旨回答がありました。

障害福祉について e-Kao

発達障害者支援法では発達障害の早期発見と発達支援が地方自治体の責務が記されています。市では「長崎市第5期障害者基本計画」に基づき、福祉部、子ども部、各総合事務所が連携し取り組んでいます。その一環に「乳幼児健康診査」（1歳半・3歳検診）が実施されています。心理相談の件数はR5の1歳半検診では2,312人の検診に対し、心理相談が716件、R3年と比較すると検診数は239人減少、心理相談の数が191件増加、検診数は減少していますが、心理相談は増加しています。現在、発達障害診断は待機が続く状態ですが、待機中の方への様に支援機関に繋ぎ、情報を伝えているのか。また支援機関に児童発達支援事業所や放課後デイサービスなどの障害児通所施設が103施設（R6.4）ある中で、児童発達支援センターの果たす役割、関係機関との連携状態について質問しました。

国家戦略特区・新技術実装連携「絆」特区の活用について

令和6年6月、長崎県は国家戦略特区「新技術実装連携「絆」特区」に選定されました。市においても、離島や海域、斜面地などの地理的特徴を活かしたドローンの活用が期待されます。特区制度を利用した、積極的な活用を考えているか質問しました。また市がこの好機を逃さず、率先してドローン産業の先進地域として発信することを要望しました。



第40回国民文化祭、第25回全国障害者芸術・文化祭を生かした振興策について

ながさきピース文化祭2025

ながさきピース文化祭2025は1年後に開催されます。石川県では128万人、コロナ前の開催地では新潟県292万人、大分県232万人が参加し、国際文化都市・長崎市には大きなチャンスとなります。一方で「ながさきピース文化祭へ自分たちは関わる機会がない」「事業は大きな団体が参加できる」という声も聞かれます。文化は裾野が広く、様々な人々が取り組めるものであるべきです。地域文化発信事業、事業主催者以外の市民や団体が、ながさきピース文化祭にどの様に関わることができるとか質問しました。また障害のある方の受け入れ態勢についても質問しました。

平和祈念式典の在り方について

8月9日原爆の日、長崎平和祈念式典が実施されました。私も式典に参列させていただき、原爆で亡くなられた方々への慰霊と、恒久平和の誓いをいたしました。この平和祈念式典は平穏かつ厳粛なものであるべきと改めて感じるところです。一方で、今年の平和祈念式典を巡っては、招待者や不招待者について、関係者やメディア、SNSなどで様々な意見が飛び交いました。来年、長崎は被爆80年という節目を迎えますが、この重要な節目において、平和祈念式典の意義をどのように位置付け、発信していくのか改めて質問しました。





創生 長崎ロケ短編動画

長崎市で撮影されたショートフィルム「バス停のあかり」。長崎創生プロジェクト認定事業者のfiland.が制作しました。野母崎近郊の南越バス停や学校をロケ地に海沿いの情景や若者の葛藤がエモーショナルに表現されています。監督は長崎市出身の松村遼さん、キャストに塩田みうさんなど長崎で活躍する俳優が出演しています。松村さんから「長崎には素晴らしい風景があり継承すべき文化がある。映像を通して伝えていきたい」と熱い想いをお聞きし協力させていただきました。また海星高校さんにはロケのご協力いただきました。ありがとうございました。



◀「バス停のあかり」はコチラからご覧ください

議会 韓国・光州広域市議団と意見交換



光州広域市議会の議員団が本市議会を訪問し、平和や環境に関する議会の取り組みについて意見交換を行いました。また市議団は原爆資料館や西工場を視察、韓国人原爆犠牲者慰霊碑を参拝しました。

地域 式見地区町民運動会

青少年育成や地域住民の親睦を図るため長年開催されてきました。この日は式見出身のご家族も帰省して参加しアットホームな大会となりました。



教育 議員インターンシップ

夏と冬、大学生インターン（.jp）を受け入れていきます。多様な団体や個人の活動に参加し、対話を通じて地域を支える人の想いを知ってもらうことを大切にしています。最終発表は子育てに関するテーマでした。



教育 アマランス派遣性教育



アスターさんの「性についての学習会」を見学。また調査報告書をいただきました。

議会 秋田市中核市サミット

中核市の市長や議員約500名が集まり、再生可能エネルギーや文化政策について議論し、今後のあり方を提言しました。



森きょうへい 活動紹介



議員どんなことしているの？
2024年秋の活動をピックアップ！
議会、団体や個人の活動、相談事やリサーチ、様々な分野の勉強を行っています

文化 民謡大会・長崎市民謡民芸大会



10/6長崎民俗舞踊研究会・民謡大会、11/4長崎市民謡民芸大会にてご挨拶をさせていただきました。出演者のしなやかで力強い舞踊に感動しました。



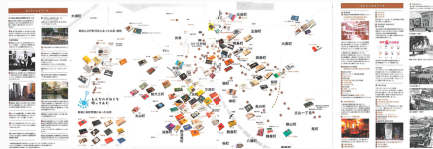
10月の活動一覧

- 1FG長崎定例会(若手まちづくり会議)
- 2韓国市議団意見交換
- 3会派勉強会/岬のエリア意見交換
- 5アマランスフェスタ・子育てws参加
- 6長崎民俗舞踊研究会、民謡大会挨拶
- 7-9長崎くんち・県庁跡地にて長崎大縁日、江戸町青年部としてゴミ拾いやパトロールに参加
- 8短編動画撮影の協力
- 10市長へ政策提言
- 12運動会へ参加
- 13式見地区町民運動会
- 14スタジアムシティグランドオープン
- 15-16衆議院選挙手伝い（東京）
- 17防災対策特別委員会（議会）
- 18まちづくりグランドデザインWS
- 19長崎市陸上競技大会
- 20ツール・ド・ちゃんぼん手伝い
- 21決算委員会準備
- 23~25議会決算委員会
- 26平和大行進(中止)
- 27ダンスコンテスト
- 28岬のエリア会議
- 30~1 中核市サミット（秋田市）



まち タウンライブラリー

県庁跡地や国道34号、市役所跡地など変化著しい「岬のエリア」。まちの根底にある魅力を探ることを目的に令和4年度から「タウンライブラリー～みんなのきおくあつめ～」を有志メンバーによる個人活動として実施しています。報告書をご覧になりたい方がいらっしゃいましたらご連絡ください。



まちづくりのグランドデザイン会議

市では2050年を目標としたグランドデザインの作成に着手しています。ワークショップや会議、HP等で意見を募集しています。ぜひみなさまの声を聞かせてください

【発行・編集】森きょうへい/長崎市議会議員

プロフィール



1988年長崎市生1児の父/まちづくりとアート（文化芸術）、教育（修士号）が専門。2023年5月より長崎市議会議員として活動中！会派ながさきミライ、環境経済委員会(R6)、建設水道委員会副委員長、(R7)、核兵器廃絶長崎市議会議員連盟役員
趣味：まち歩き、アート、読書・映画鑑賞

問い合わせ：info@mori-kyohei.com

地域 長崎くんち・長崎大縁日

県庁跡地や出島表門橋公園にて「長崎大縁日」を各団体連携して開催。回遊性向上と家族が安心して参加できる内容となりました。江戸町青年部として、運営会議に参加し、当日は清掃とパトロールを行いました。



平和 平和の灯

原爆で亡くなった方々の慰霊と平和を祈念する「平和の灯」に長崎青年会議所のメンバーとして参加しました



SNS発信中！



▲ブログ他



▲Instagram

TEL:095-829-1405(長崎市議会控室)